

## 業務説明資料兼仕様書

### 1 件名

令和5年度 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出事業推進  
業務委託

### 2 履行期間

契約締結日から令和6年3月22日(金)まで

### 3 履行場所

横浜市内

### 4 業務背景

近年、経済のグローバル化がますます進展するなか、横浜経済が持続的に成長を続けていくためには、海外から企業や投資をより一層呼び込む必要がある。

また、本市の人口が減少局面に入り、将来的に労働人口が減少していくことが見込まれることが大きな課題となる中、市内在住外国人人口については継続的に増加しており、外国人材の活用は重要となっている。こうした状況の中、海外から有望な人材を継続的に呼び込むことで、横浜のビジネス環境をより活性化させていくことが重要である。特に世界的にスタートアップ企業の成長が目覚ましい現状に鑑み、海外の有望なスタートアップ支援機関や投資機関等とのネットワークを新たに開拓し、有望なスタートアップ企業や人材を呼び込むことにより市内のビジネスプラットフォームや企業とのオープンイノベーションを促進し、新たなビジネスを創出することが重要である。

そのため、横浜市は、「横浜市中期計画 2022～2025」において、政策 21 に「スタートアップの創出・イノベーションの推進」を、政策 24 に「国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献」を、そして政策 25 に「世界から集いつながる国際都市の実現」を掲げ、施策 1 「海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・SDGs の推進」や施策 3 「世界から人材が集う街」に向けた環境づくりなどの取組を推進しているところである。

また、令和2年には東京都をはじめ、自治体・企業・団体等と連携した、スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムの一員として、「グローバル拠点都市」に選定を受けている。

一方で、横浜市は開港以来、海外の活力を積極的に取り込み、国内では国際都市としてのイメージを持たれているものの、海外における知名度は決して高いとは言えない。上記の取組により、横浜の多様性やイノベーションの発信地としての強み・魅力を強化し、それを世界に発信することで、グローバル化が進展する中、今一度、都市ブランドを確立・日本のゲートウェイとしての国際的地位の確立を図ることが不可欠である。

また、市内の高校生や留学生を含む大学生など、若い世代と国際人材との交流機会を増やし、国内外で活躍ができるグローバルな視点を持つ次世代の人材育成に取り組むことで、新たなビジネスやグローバルに活躍する人材を生み出し、本市の将来にわたる持続的な成長・発展を目指す。

なお、令和5年には本市が提出した「海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出事業」が地域再生計画の認定（第67回認定）を受けている。これに加え、前述の以

下に示す各種計画等を十分に参照することが必要になる。

- ・横浜市中期計画 2022～2025

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2022-2025/chuki2022-.html>

※とりわけ、政策 21 に「スタートアップの創出・イノベーションの推進」、政策 24 「国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献」及び政策 25 「世界から集いつながる国際都市の実現」に掲げる政策指標の達成に寄与することが求められる。

- ・横浜市地域再生計画「海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出事業」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/public-facility/tokku/saisei/chiikisaisei2.html>

※本計画に掲げる数値目標 KPI①～③の達成に寄与することが求められる。

これらを参照の上で、

- ・国際コンベンションの内容を充実させること
- ・国際コンベンションを企画すること
- ・本市の国際的な認知度を向上すること

をはじめとする、詳細は後述する各種取組を推進する。

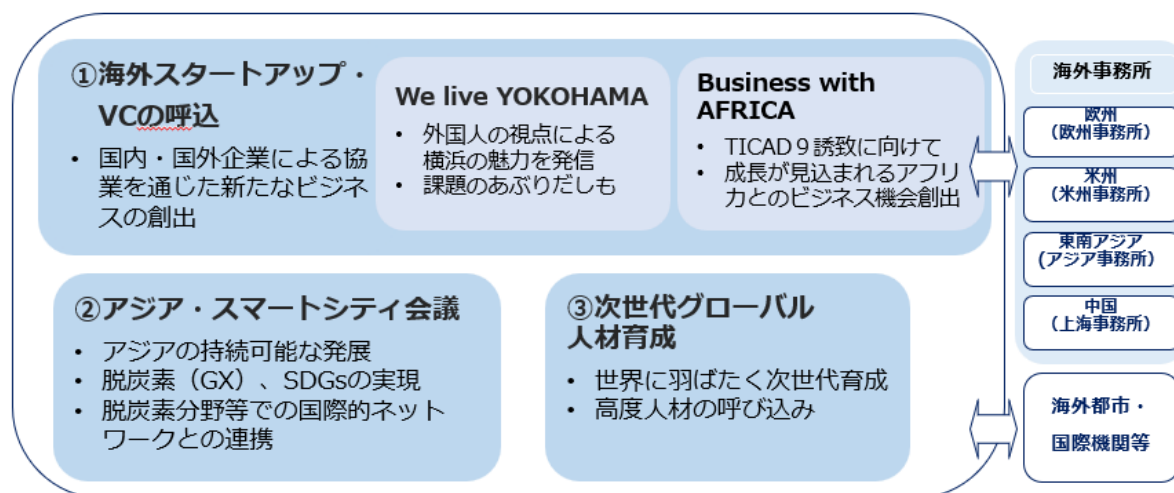
## 5 業務目的

本業務は、業務背景に示した厳しい状況下でも本市が持続的発展を遂げるため、次の2点を目的とする。

1 海外スタートアップと市内企業による脱炭素・グリーン分野を中心とするオープンイノベーション創出につながる（1）海外連携機関とのネットワーク構築、（2）市内企業等のマインドセットを行うセミナーの開催を行うとともに、グローバルに活躍する次世代の人材育成や本市の国際的認知度向上に向けた取組を行うこと。

2 これらの取組のハイライトとして開催する国際コンベンション「Y-SHIP」に、海外を中心に多くの参加者が集まり、オープンイノベーションに向けた動きが生まれるよう、各コンテンツ・テーマの企画を充実させること。

## 【参考 1】国際コンベンションの実施イメージ



## 【参考 2】事業の成果指標

委託者は、事業管理のために下表の成果指標を設けている。本業務委託は、下表の成果指標を達成するために実施するものである。そのため、受託者は以下の指標を念頭に、後述「6 業務内容 (実施内容)」に記載の内容を遂行すること。

本事業の成果指標		6 業務内容との対応
市内企業・団体等と海外連携機関(※1)等との連携によるオープンイノベーション創出へ向けた具体的な案件の提案	1 件	(1) ア
海外連携機関と横浜におけるオープンイノベーションの運営主体や市内企業等との交流機会の提供	50 企業・個人	(1) イ、(2) エ
本事業に関連して実施した次世代向け人材育成プログラム等への参加者数及び本事業実施に携わった学生数	延べ 50 人	(1) ウ
国際コンベンションのリアル参加者(※2)	2,000 人 (延べ人数)	(2) エ、オ等
国際コンベンションの海外からのオンライン視聴数 (イベント開催後、オンラインに掲載するアーカイブ動画等の視聴回数も含む)	1 万回 (延べ視聴回数)	(2) オ、ク等
横浜に興味・関心がある人のリスト登録者数	100 人	(3) イ

※1 ベンチャーキャピタル、アクセラレーター、政府機関など。以下「海外連携機関」とする。

なお、当該海外連携機関の候補となる、令和 4 年度委託事業「令和 4 年度 海外事務所を活用したイノベーション・SDGs の推進事業業務委託」にて発掘した 31 団体 (横浜市、市内企業との連携に向けて前向きな関係を構築できた海外の成長支援機関 (ベンチャーキャピタル、アクセラレーター、政府機関などを想定。以下「支援機関」という。) のリストを、受託事業者決定後に委託者より提供する。

※2 リアル参加者について、新型コロナウイルス感染症などの流行状況等を鑑み、目標人数は必達とはせず、委託者と調整のうえ、オンライン視聴数の目標値に加算すること等も想定するほか、「アジア・スマートシティ会議」等連携して開催する会議の参加者についても、参加の様態等によって加算を想定する。

なお、提案にあたっては、様式5-1において、事業全体の提案イメージとその推進方針として、具体性と実現性の裏付けとなる根拠に基づき、横浜市の現状(強み、弱み等)を分析した上で、事業自立化への道筋を含む中長期的な取組も含めて事業全体の方向性の提案を求める。さらに、様式5-2において、オープンイノベーションの実現に向けた海外連携機関とのネットワーキング、セミナー開催にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針を、様式5-3においてグローバル人材育成にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針を、様式5-4において横浜にゆかりのある国際人材の情報発信にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針を、様式5-5において、国際コンベンションの企画方針と具体的なイメージ(ただし、別途発注する「アジア・スマートシティ会議」にかかる企画委託(委託件名:令和5年度Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIOを活用したY-PORT事業の推進業務委託)における業務背景、業務目的等も十分に参照の上、同委託業務での実施事業と本件委託事業の具体的な連携の仕方について記載を求める)を、ニーズ収集及び実施後のフォローアップ実施方針等の提案を求める。必須で実施する内容については、6に記載する。

## 6 業務内容(実施内容)

受託者は、本事業における実施内容として、下記の3項目を柱として実施すること。

- (1) 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出推進
- (2) 国際コンベンションの企画及び開催補助
- (3) ニーズの収集及びフォローアップ等

### (1) 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出推進

#### ア オープンイノベーションの実現に向けた海外連携機関とのネットワーキング

- ・受託者が有するネットワークを最大限活用し、複数の海外のスタートアップ支援機関や投資機関等との調整を進め、取組を進める。
- ・これらの機関と市内のビジネスプラットフォーム及び横浜市海外事務所等との連携関係を構築する。
- ・連携の構築を含む、本事業の遂行において得られた情報については、委託者と詳細を調整の上、別途横浜市の事業や関連イベント等で市内企業・団体等に情報提供を行うなどして、具体的なマッチングの実現に繋げるための、提案を行う。

#### イ セミナーの開催

- ・海外連携機関、海外スタートアップとの連携にかかる横浜市内連携機関や市内企業等のマインドセットを醸成することを目的とし、国内における海外スタートアップ、エコシステムとの連携等を行うという目的を達成するための最適なセミナーを4回企画・実施する。オンラインでの実施も可とする。

- ・なお、4回のうち少なくとも1回は自主企画とするほか、オープンイノベーションの成功事例紹介等を内容に含めることとする。他に關しては、下記(2)のコンベンションにおいて実施するなど、他の団体、機関が実施するイベント(セミナー)などと合同開催しても構わない。

#### ウ グローバル人材の育成

- ・グローバルに活躍できる次世代の人材育成を目的とし、オンラインも活用し、市内の高校生や留学生を含む大学生などの若い世代と国際人材との交流機会を増やす。
- ・本事業の推進・実施に際し、市内の高校生や大学生、留学生などの若い世代の関与・参画機会を創出し、次世代の「国際都市・横浜」のグローバルマインド醸成に繋げる。

#### エ 横浜にゆかりのある国際人材の情報発信・プラットフォームの提案

- ・横浜にゆかりのある国際人材を探索し、ネットワーキングを行うとともに、本市が委嘱したグローバルアンバサダーも活用し、国内外に向けて横浜に居住することの魅力効果を効果的に発信する。
- ・情報発信ツールについて、横浜市海外事務所ウェブサイト (<https://businessyokohama.com/jp/>) をはじめとする本市が所有する Web サイトや SNS の活用を試行実施するとともに、最適なプラットフォームを検討・提案する。
- ・将来的に上記ウの取り組みと連携・発展させ、横浜にゆかりを持ちグローバルに活躍する人材のネットワーク化を図り、オンラインで相互に繋がり交流するプラットフォームを構築するための取り組み・手法を検討する。

#### オ 広報の実施

- ・セミナーをはじめとする本事業について、広報を行うこと(日本語及び英語)。
- ・ここでの広報ツールについては、基本的に本市が管理する Web サイトや SNS 等を想定する。
- ・広報のためにキービジュアルを委託者と協議の上作成する。

#### カ 事業全体の報告

- ・次年度以降の実施に向けたナレッジ蓄積を目的として、本事業に関する年次報告書を作成すること。

### (2) 国際コンベンションの企画及び開催補助

委託者である、本市国際局国際連携課及び各海外事務所とも緊密に連携をしながら、11月に開催予定の国際コンベンションを企画すること。

本市が海外活力の呼び込みに向けた取組をさらに強化することを海外に向けて発信し、全市民的に国際プロモーションを推進するとともに、市内におけるグローバルマインドを醸成することを狙いとし、コンベンションを令和5年11月(目安。現段階では、11月21日、22日を予定)に市内で1回開催する。コンベンション開催においては、5の参考2に記載している通り、リアル参加者2,000人(延べ人数)、国際コンベンションの海外からのオンライン視聴数(イベント開催後、オンラインに掲載するアーカイブ動画等の視聴回数も含む)1万回(述べ視聴回数)を成果指標として設定し、外国企業、外国スタートアップ等を参加者のメインターゲットとして設定したうえで、以下の条件を設けるものとするが、具体的な企画立案・集客・運営手法について委託者と協議して決定するものとする。

- ・別途国際局国際協力課が公募にて発注している「アジア・スマートシティ会議」（委託件名「令和5年度Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIOを活用したY-PORT 事業の推進業務委託」業務説明資料7「第12回アジア・スマートシティ会議等について」  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/kakukukyoku/2023/itaku/kokusai/koubo-kokusai.html>）を同一日程及び同一会場で行い、一連の国際コンベンションとして開催する。については、本業務における国際コンベンションの全体企画の立案や開催結果等のとりまとめにあたっては「アジア・スマートシティ会議」を包含するコンベンションとして情報発信できるよう、国際協力課の委託業務事業からの情報を適時に収集しながら、とりまとめること。
- ・同様に、別途国際局国際協力課が公募にて発注している「SDGs 分科会セミナー」（委託件名「令和5年度シティネット事業におけるSDGs 推進業務委託」業務説明資料6（3）「SDGs 分科会セミナー」  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/kakukukyoku/2023/itaku/kokusai/20230530.html>）も、第12回アジア・スマートシティ会議の機会を活用して開催されるため、同様に包含するコンベンションとして情報発信できるよう、国際協力課の委託業務事業からの情報を適時に収集しながら、とりまとめること。
- ・実施形式は、リアルとオンラインのハイブリッド開催とする。オンライン配信については海外を主たるターゲットとし、同時中継することや、録画のうえ事後でアーカイブ掲載すること等を想定する。開催場所はみなとみらい21地区を想定しており、委託者が手配する。
- ・当日のコンベンションの設営、運営（リアル・オンラインともに）およびオンライン配信等は別途運營業務委託を行うため、当該受託者と事前調整および当日における連携を行うこと。
- ・コンベンション当日の使用言語は、英語を基本とする。別途、運營業務の受託者が日本語での通訳（同時通訳を想定）を手配する。なお、コンベンション周知の際と、コンベンション当日及び事後のアーカイブ動画等で必要な日本語通訳や翻訳（オンライン上も含む）についても、同様に運營業務の受託者において手配する。
- ・コンベンションのリアル参加者等を対象としたレセプションを開催予定であり、運營業務委託の受託者と連携して、効果的な内容となるよう検討する。

なお、上記の実施に当たり、下記事項を実施すること。

#### ア 内容の企画立案

- ・コンベンションの内容を企画立案する。委託者では以下内容を検討しており、これを十分に参照すること。
  - （ア）オープニングセッション（アジア・スマートシティ会議との合同オープニングとして開催）
  - （イ）オープンイノベーション（国内・国外企業による協業を通じた新たなビジネスの創出）
  - （ウ）We Live YOKOHAMA（外国人の視点による横浜の魅力発信）
  - （エ）グローバル人材（次世代育成、高度人材の呼び込み）
  - （オ）Business with AFRICA（ビジネス機会創出、TICAD9誘致）

(カ) クロージングセッション（アジア・スマートシティ会議との合同クロージングとして開催）

- ・11月に開催する国際コンベンションの前後に、他の主体が開催する関連するイベントとの連携を検討するほか、委託者と調整の上連携イベントの企画を行うこと。

特に、別途本市が進めているアジアを中心とした現地大学とのネットワークを通じた海外高度人材の市内就業に向けた取組とも連携することとする。具体的な連携の在り方については横浜市と協議の上定める。

また、海外や市内の関連するイベント等と連携を図り、自走化に資する相乗効果を得られるとより望ましい。

#### イ プログラムの作成

- ・コンベンションのプログラムを作成する。実施期間は最大2日間を想定して、横浜の魅力を海外に発信する観点から、エンターテインメント性のある“Play”や“Fun”といった要素を盛り込むこと。
- ・内容に基づき、日本語版・英語版の配布用プログラムを作成すること。なお、プログラム内容は会議当日まで変更する場合があるため、必要に応じて更新し、データを委託者や関係者と共有すること。

#### ウ 講演者・出演者との調整

- ・イベントの講演者・出演者（以下「登壇者等」とする。）を委託者に対して提案し、決定後、登壇者等に講演・出演を依頼するとともに内容の調整を行う。登壇者等への謝金は、必要に応じて、本事業の中で受託者から登壇者等に対して支払うこと。なお、登壇者等は全体で最大20名程度の規模を念頭に検討すること。
- ・会議進行に必要な司会者やモデレータを手配すること。委託者との協議の上で、受託者自らが行うことも可とする。
- ・なお、登壇者等については、性別に偏りのないよう努め、事業目的を達成することを第一義にするものの、テーマの多様性に即してビジネス経験者のみに偏ることのない（例：国際機関職員、学識経験者、コンサルタント、クリエイター等）ようにする。
- ・登壇者は原則、現地登壇を想定するが、オンラインまたはビデオ登壇も想定する。
- ・本市が委嘱したグローバルアンバサダーとの連携を行うこと。

#### エ コンベンションにおける参加者との協議及びネットワーキング

- ・横浜と連携が期待される国内外での先進的なエコシステムについて、当日の参加を呼び掛ける。
- ・コンベンション参加者から情報収集を行うとともに、ビジネスマッチング等の出席者同士の交流を促進すること。

#### オ スタートアップが参加するビジネスイベントの企画・調整

- ・スタートアップにとって、ビジネスパートナーの構築に資するビジネスイベント等を企画すること。
- ・企画にあたっては、委託者を通じ、本市の関連する部局や関係機関と調整を行うこと。

#### カ 会議開催に係る広報・集客

- ・効果的な広報・集客企画を提案の上実施すること。



- ・横浜市がネットワーク構築を図るスタートアップ支援機関の登壇・参加を図るなど、イベント効果を最大化するための効果的な集客企画を提案の上実施すること。なお、参加者受付業務はその後で述べる通り、運營業務として別途委託予定であるため本業務から除くことに留意すること。
- ・横浜市ウェブサイト内でコンベンションに関する広報を行うため、掲載案（日本及び英語）を作成し、委託者に提示すること。

#### キ コンベンション当日の会議進行補助

- ・モデレーターや司会者等が当日の会議を円滑に進行できるよう、コンベンション会場でモデレーターや司会者等のサポートを行うこと。

#### ク アンケートの実施・集計

- ・コンベンションのリアル参加者及びオンライン視聴者向けに、アンケートを実施する。アンケート項目は、委託者と調整して決定すること。

#### ケ コンベンション実施後の広報

- ・実施後、運營業務委託の受託者が撮影した動画をアーカイブ動画として編集予定であるが、構成について運營業務委託受託者に有益なアドバイスを実施すること。
- ・アーカイブ動画をはじめとする実施成果の発信について、主たるターゲットである競争力のある外国人材への効果的な広報手段を提案すること。

#### コ コンベンション報告書の作成

- ・コンベンション実施後に、アンケート結果及びコンベンションの様子を報告書にまとめ、分析を行うこと。

#### サ 事業自走化のための取組

- ・将来的な民間主体の参画や民間資金の活用も含めた自走化を見据えて、受託者のネットワークを最大限活用し、企業・団体等の参画を呼び込む。
- ・10月中旬までに企業・団体等からのメンバーを集め、会合を開催する。この会合のメンバーについては、11月のコンベンションにおいても主体的に参画いただくことを前提とし、コンベンション開催までの間、コンベンションの企画について意見交換を行う。併せて自走化も含めた本事業の将来の在り方についての意見交換も行うこととする。ネットワーク・メンバーについては、受託者が候補を提案し、横浜市との協議によって選定することとする。

なお、以下の業務については、運營業務として別途委託予定であるため本業務から除く。また②については、委託者が手配予定である。

#### ①運営委託業務

##### ア 会議準備（開催前）

- (ア) 当日受付準備
- (イ) 会場利用計画の策定
- (ウ) 会場設置準備物の用意
- (エ) イベント保険の手配・査証手続きサポート
- (オ) 会場機材手配
- (カ) 参加者募集（来場、オンライン）及び管理

- イ 会議開催中
- (7) 受付や通訳等、運営スタッフの配置
- (I) 記録用写真撮影
- (ウ) ビデオ撮影及びオンライン配信
- (エ) ランチ及びレセプションにかかる飲食手配

## ②会場借上げ

委託者は、コンベンションの会場として「みなとみらい地区のホテル会議室フロア」等の借上げを予定している。本業務委託費から会場借上げ費用の支出はない。

## (3) ニーズの収集及びフォローアップ等

### ア コンベンション等事業実施後における関係者とのフォローアップ協議

- ・アンケート等で収集したコンベンション参加者の関心をとりまとめる。取りまとめた結果から、今後展開が見込まれる案件情報を整理する。
- ・さらなる今後の展開の可能性を探るため、フォローアップ会議として、関係者との Web 会議を開催し、翌年度に向けた改善方法をまとめること。

### イ コンベンション等事業実施後における横浜に興味・関心がある人のリストの作成

- ・横浜に興味・関心がある人のリストを作成すること。リストの登録項目については、委託者と調整して決定すること。また、リストを活用した今後の展開についても提案を取りまとめること。

### ウ 効果的な事業実施手法の提案

- ・とりわけ海外の主体から本事業への関与が促進されるよう、ウェブサイトや SNS 等を活用した国内外への効果的なプロモーション手法を提案すること。特に SNS については、委託者が保有するアカウントに限らず、閲覧数の増加が図られる手法を検討し、拡充内容を委託者と協議の上、決定すること。
- ・海外企業を誘致する際に一助となる、日英いずれも対応可能な弁護士によるサポートのスキーム検討など、今後海外活力の取り込みに資する効果的な事業全体の実施手法を検討し、提案すること。
- ・なお、提案にあたっては横浜市地域再生計画「海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出事業」に掲げる数値目標 KPI①～③の達成に寄与することが求められることに留意すること。

### エ 事業全体の効果測定の検討

- ・本事業の事業効果の測定指標について検討すること。例えば、海外連携機関等との連携による経済効果、国際コンベンションの開催によるパブリシティ効果の試算等を想定する。

## 7 実施体制・業務遂行上の注意

- (1) 本業務委託について、高度なレベルで遂行可能な実施体制を構築すること。必要な経験・専門性がある担当者が配置され、連携体制がとれる構成・人数とすること。
- (2) 本事業の実施にあたり、2週間に一度以上の頻度を目安に定例で打合せを行い、委託者及び関係者と十分な協議を行える体制とすること。また、定例で事業進捗及び課題の報告を行うこと。定例打合せは Web 会議も可とする。

- (3) 本事業実施のための委託者との打合せにおける議事録を作成し、打合せの翌営業日までに委託者と共有すること。
- (4) コンベンション開催の際には、企画した内容が円滑に進行するよう、運営業務受託者と協力するとともに、会議当日も参加すること。
- (5) 今年度本市が実施予定の他の業務との連携を的確かつ円滑に行うため、委託者から要請があった場合には、各業務の受託者の現場責任者の出席調整を行い、進捗報告及び情報共有をすること。

## 8 本業務委託に係る経費

受託者は、本事業実施に係る費用を積算し、そのうち、本市が必要と認めた費用について本業務委託で負担する。

## 9 事業計画書及び報告書の提出

### (1) 事業計画書

契約締結後7日以内に、事業計画書（実施行程及び執行体制表を含む）を委託者へ提出すること。これらは、受託者及び委託者が協議の上策定することとする。事業計画書を変更する必要がある場合は、事前に委託者と協議の上、更新版を提出すること。

### (2) コンベンション報告書及びリストの作成

令和5年12月28日(木)までに、開催した国際コンベンションの実施内容及び成果についての事業報告書を提出することに加え、横浜に興味・関心がある人のリストを作成し、提出すること。

### (3) 事業報告書

令和6年2月29日(木)までに、事業全体にかかる事業報告書を提出すること。

委託者による報告書内容の精査のため、提出期限の7日前までに成果品案を提出すること。

### (4) その他

受託者は委託者から求めがあった場合には、本業務委託に係る資料を提出すること。また、本業務委託に関連して収集・作成した資料等の一式があれば、わかりやすい関連資料としてまとめる。

報告書に記載される写真、図表等について、知的財産権・著作権に係る処理が必要となるときは、受託者において措置すること。また、関係する市内企業等のビジネスの商業上の秘密に該当する情報を報告書に含み、公開がこれら企業等に損害をもたらすと判断される場合は、予め委託者と協議し、まとめ方を決定すること。企業の技術、商品についての記載がある場合はあらかじめ記載について当該企業からの了承を書面にて得ること。

## 10 報告書の納品について

先述の9(2)コンベンション報告書及びリスト、(3)事業報告書の納品については、次の通りとする。

### (1) 部数

製本10部

- (2) 報告書、関連資料等の電子データ：1式  
(PDF形式に加え、編集可能な形式のファイルも納入すること。特に、関連資料のうち、図表・グラフに係るデータについては、Excel形式等により納入すること。)
- (3) 納入場所：横浜市国際局国際連携課  
(横浜市中区本町6丁目50番地の10 市庁舎31階)

## 11 特記事項

- ・本業務委託の実施に際しては、委託者の趣旨を理解のうえ、適宜十分な協議を行い、その指示に従うこと。
- ・委託期間中の業務経過全般を把握している現場責任者を置き、委託者と連絡調整を行うこと。
- ・業務委託仕様書に定めのない事項を履行する場合、詳細及び内容に疑義を生じた場合、並びに業務上重要な事項を履行する場合については、あらかじめ委託者と協議し、その指示または承認を受けること。
- ・本業務委託実施上知り得た情報について、公にされている事項を除き、将来にわたり、本業務委託以外で自ら利用し、他に漏らさないこと。ただし、受託者による情報利用が、本業務委託を通じて支援した市内企業等からの要望に基づくものであり、かつ、委託者の承諾を書面により得た場合（受託者が国際プロモーション強化に係る調査・提言内容を踏まえウェブサイトの構築を継続して行う場合等）を除く。
- ・本業務委託の実施に際しては、業務委託仕様書のほか、横浜市契約規則、横浜市委託契約約款、個人情報取扱特記事項及び電子計算機処理等の契約に関する情報取扱特記事項などの関係法令等を遵守すること。
- ・本事業の一部を契約者以外の第三者に委託する場合には、書面により委託者の承諾を得ること。